

## 令和5年度 第4回 都田南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月12日（火） 15時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 都田南小学校 ふれあいルーム
- 3 出席委員 牧田 景子、長谷川 卓人、神間 智博、中安 和美、山本 昌美、野末 将秀
- 4 欠席委員 石田 由紀子
- 5 オブザーバー 伊藤 賢典（都田協働センター）
- 6 学 校 鵜飼 和生（校長）、尾上 清（教頭）、勝永 昌宏（教務主任）、谷野 文彦（CS担当教諭）、服部 美保（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 服部 美保
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中安委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- （1）学校評価アンケートの結果について
- （2）CS活動報告

### 11 会議記録

司会の谷野教諭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）学校評価アンケートについて

議長の指示により、勝永教務主任から、学校評価アンケートの結果について説明があり委員からは、以下の発言があった。

- ・項目20「先生は、いじめはしてはいけないことだと教えてくれる」の児童の評価が高いが、先生方はどのように児童に教えてくれているか。（神間委員）
- ・低学年の指導としては、当事者それぞれに言い分があるため、教員が間に入り内容を整理しながら話し合う等の個別対応をしている。また、こういう事例があったということを朝の会や道徳の授業で話をする等の全体指導もしている。（谷野教諭）
- ・いじめとは、児童が心理的・物理的影響を与えるものであり心身が苦痛と感じたらいじめとして対応をしている。件数は年々増加傾向にある。これに対して、学校ではいじめ防止基本方針を作成し、いじめの未然防止、早期発見・対応に取り組んでいる。大切なのは学級の雰囲気作りや傍観者を作らないということ。児童や保護者から訴えがあればすぐに対応し、それも複数の教員で対応するように心掛けていく。これからもいじめ見逃し0を目指し取り組んでいきたい。（鵜飼校長）
- ・項目9「子供は、学習の目標を立てて、それに向かって学習している」の評価が低いのは、学校での様子が保護者に伝わっていないということだと思う。（牧田委員）

- ・子供たちの様子を伝える機会は授業参観や面談やブログだが、学習の様子を伝える場が少なく、伝え切れていないと感じる。(勝永教務主任)
- ・コロナの影響で学級懇談会がなくなり、学校に来なくなったことで保護者同士の繋がりも少なくなった。保護者同士が繋がる努力を学校でもしてくれとありがたい。(牧田委員)
- ・担任を持っていた頃は学級だよりを気軽に作っていた。今は情報の出し方も難しい時代。(中安委員)
- ・先生方はお便りを出したいと思っているのではないか。だが現状は事務量が多く大変。項目9、10は保護者には分からないから見直した方が良いと思う。また、学校の特徴が分かるように、他の学校と比べてどうかという視点で知りたいと思う。市内の小学校で同じ質問項目を設定するなど工夫したらどうか。(山本委員)
- ・項目9、10は回答するのに困ったので子供に聞いた。内容を検討した方が良い。項目5「子供は、自分の良いところを言うことができる」については、都田南小の子は、遠慮がちな子が多い。自信をもって言える子になるといいと思う。(野末委員)
- ・この学校だけの傾向ではないと思う。社会の影響なのか、未来に対する希望が低い傾向にある。(山本委員)
- ・国によっても違いはある。日本人は自分を謙遜する傾向がある。(長谷川委員)
- ・自分の良いところを言えなくても良いのではないか。謙譲の文化でありそれが日本人の良いところ。(山本委員・神間委員)
- ・子供たちに関わる周りの大人たちが求め過ぎているのでは。学年が上がり成績がついてくると子供への評価が厳しくなる。子供の悪い所ばかりに目が行く。小さなことに気付いてどんどん褒めてあげると子供も変わっていく。完璧な人間はいないからこそ、周りにいる皆で協力し合って褒めて育てたいと思う。(牧田委員)
- ・身近な大人が子供のちょっとした変化に気付いてあげることが大切。そして関わる大人の数が多い方が良い。様々な人がいるという学びになる。(山本委員)

## (2) CS活動報告

牧田委員から近況報告があった。

- ・今年度は14名のミシンボランティアに協力いただいた。授業でミシンを一斉に稼働するため、大変だと先生から聞いている。来年も協力していきたい。
- ・2年生の校外学習では約7人のグループに分かれて8か所を回った。9名の保護者のボランティアに協力いただき、楽しい体験活動ができた。とても助かったと先生から話があった。
- ・今年も新中学生向けの自転車教室を開催する予定。昨年とても好評だった。地域にチラシを回覧し、協力してくれるサポーターを募集中。  
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## その他連絡事項等

司会から、今年度の振り返りとして協議会の自己評価をしていただき、自己評価表を来年1月12日までに学校へ返信していただくよう依頼をした。